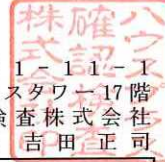




HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
令和2年1月16日

## 接合部性能試験成績証

受付日：令和元年11月11日  
受付番号：HP19-KT116東京都港区海岸1-1-1  
ニューピア竹芝ノースタワー17階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 吉田 正司

1. 接合金物名称	ダイアホールド
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」を試験により評価する。
4. 試験内容	たて枠端部接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」及び2018年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「ダイアホールド」 材 質: SGHC (JIS G 3302)*1 寸 法: (外形)65mm×79.09mm×175mm 板厚t=3.2mm 接合具用孔 17-φ6.4mm 表面処理: Z27*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>たて枠側: 「鍋頭ねじ(先割れ) φ6.0×90」10本 材 質: 下記の化学成分を満足する炭素鋼 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 寸 法: 頭部径φ9.85mm 胴部径φ5.9mm ねじ山径φ6.25mm ねじ谷径φ4.45mm ねじピッチ2.82mm 首下L=90mm ねじ部L=75mm 表面処理: デュラルコート*1</p> <p>横架材側: 「偏心丸座金 φ45」1個 材 質: SS400 (JIS G 3101)*3 寸 法: φ45mm 板厚t=9mm ボルト用長孔加工1-φ14mm L=24mm 表面処理: 生地*4</p> <p>「鍋頭ねじ(先割れ) φ6.0×150」5本 材 質: 下記の化学成分を満足する炭素鋼 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 寸 法: 頭部径φ9.85mm 胴部径φ5.4mm ねじ山径φ6mm ねじ谷径φ4.2mm ねじピッチ2.5mm 首下L=150mm ねじ部L=70mm 表面処理: デュラルコート*1</p> <p>「全ねじボルトM12」*5 1本 「六角ナットM12」*5 1個</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>たて枠材: 45mm×89mm×900mm JAS A種構造用単板積層材 スギ 60E-190F 2本 含水率: 8.0~9.5% 全乾密度: 0.35~0.38g/cm<sup>3</sup></p> <p>下枠材: 45mm×89mm×700mm JAS A種構造用単板積層材 スギ 60E-190F 含水率: 7.5~8.5% 全乾密度: 0.35~0.36g/cm<sup>3</sup></p> <p>床合板: 89mm×700mm 厚さ24mm JAS 構造用合板 特類2級 含水率: 8.5~9.5% 全乾密度: 0.49~0.51g/cm<sup>3</sup></p> <p>横架材: 89mm×89mm×1,000mm JAS A種構造用単板積層材 スギ 60E-225F 含水率: 8.0~8.5% 全乾密度: 0.33~0.35g/cm<sup>3</sup></p> <p>4) その他</p> <p>たて枠同士の接合: 太め鉄丸くぎCN75F @300mm以下 下枠-たて枠の接合: 太め鉄丸くぎ2-CN90E 下枠-床合板の接合: 太め鉄丸くぎ4-CN90F @200mm 床合板-横架材の接合: 太め鉄丸くぎ4-CN75F @150mm以下</p> <p>*1 引張強さ270N/mm<sup>2</sup>以上の鋼板 *2 両面めっき最小付着量275g/m<sup>2</sup>(3点平均)以上の防錆処理 *3 引張強さ400N/mm<sup>2</sup>以上の鋼板 *4 電気亜鉛めっきtp-Fe/Zn8/CM2C(JIS H 8610 及び JIS H8625)以上の防錆処理 *5 Zマーク規格品</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様とし、横架材に用いた構造用単板積層材は、たて使いとした。 試験体(横架材)は、六角ボルトM12及び六角ナットM12、w4.5mm×40mm角座金を用いてトルク管理値20N・mにて鉄骨架台に固定した。接合金物の仕様として、接合金物横架材側に全ねじボルトM12、六角ナットM12を偏心丸座金φ45を介して鉄骨架台に手締めにて固定した。 また、加力時にたて枠の偏心防止のため、サポート治具を設けた。
7. 試験結果	基準許容応力: <b>15.26 kN</b> (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和元年11月12日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 千葉 博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。